



2014年5月1日

米国癌学会および国際細胞治療学会にて WT1 ペプチベータ(MACS[®] GMP PepTivator[®] WT1)を用いた 樹状細胞ワクチン療法の解析研究の成果が発表されました

医療法人社団滉志会瀬田クリニックグループで4月1日より提供を開始した「MACS[®] GMP PepTivator[®] WT1」ⁱ(以下、「WT1 ペプチベータ」)を用いる樹状細胞ワクチン療法に関する解析研究の成果が、以下学会において発表されましたのでお知らせいたします。

- **米国癌学会 2014(AACR: American Association for Cancer Research)**

発表日時:2014年4月7日(月)(現地時間)

場所:米国 サンディエゴ

演題:WT1 ペプチベータ感作樹状細胞療法の臨床研究における免疫学的反応性の評価ⁱⁱ /
マウスモデルでPepTivator[®] OVA で感作された樹状細胞を用いた特異的CD4陽性T細胞
およびCD8陽性T細胞の誘導ⁱⁱⁱ

- **国際細胞治療学会 2014(ISCT: International Society for Cellular Therapy)**

発表日時:2014年4月24日(木)(現地時間)

場所:フランス パリ

演題:WT1 ペプチベータで感作された樹状細胞を用いた抗原特異的T細胞の誘導^{iv}

瀬田クリニックグループでは、WT1ペプチベータを用いる樹状細胞ワクチン療法の提供にあたり、欧州・豪州・韓国・米国および日本で樹状細胞ワクチン療法の技術的特許を有する株式会社メディネット(神奈川県横浜市)の技術基盤のもとで解析研究を行いました。

その結果、WT1 ペプチベータを用いた樹状細胞ワクチン療法が安全に実施可能であり、抗腫瘍効果を発揮するCTL(キラーT細胞)が誘導することが確認されています。同時に、CTLの働きを増強するヘルパーT細胞の誘導も期待できることが示唆されました。

本件に関するお問い合わせ:

医療法人社団 滉志会 法人本部

東京都千代田区飯田橋3-6-5 ころとからだの元氣プラザ 8階

TEL: 03-3511-0150 <http://www.j-immunother.com/>

i MACS、PepTivator は Miltenyi Biotec GmbH の登録商標です。

ii WTI ペプチベータ感作樹状細胞療法の臨床研究における免疫学的反応性の評価

・原題: Clinical prospective study of PepTivator® WT1-pulsed dendritic cell vaccines with assessment of immunological response in the solid tumors

・演者: Shoko Saiwaki¹, Masashi Takahara¹, Haruka Matsushita¹, Takashige Kondo¹, Hermann Bohnenkamp², Ryuji Maekawa¹, Shigenori Goto³, Takashi Kamigaki³

(¹Medinet Medical Institute, MEDINET Co., Ltd./²Miltenyi Biotec, GmbH/³Seta Clinic Group)

・セッション: Immunology 4, Poster Section 27

iii マウスモデルで PepTivator® OVA で感作された樹状細胞を用いた特異的 CD4 陽性T細胞および CD8 陽性T細胞の誘導

・原題: Induction of both OVA specific CD4+ and CD8+ T cells by using PepTivator® OVA-pulsed DCs in mouse model.

・演者: Kenji Miki¹, Koji Nagaoka¹, Hermann Bohnenkamp², Takayuki Yoshimoto³, Takashi Kamigaki⁴, Ryuji Maekawa¹

(¹Medinet Medical Institute, MEDINET Co., Ltd./²Miltenyi Biotec, GmbH/³Institute of Medical Science, Tokyo Medical University/⁴Seta Clinic Group)

・セッション: Clinical Research 6, Poster Section 36

iv WTI ペプチベータで感作された樹状細胞を用いた抗原特異的T細胞の誘導

・原題: Induction of antigen specific T cells using PepTivator®-pulsed DCs)

・演者: Masashi Takahara¹, Shigenori Goto², Kenji Miki¹, Shoko Saiwaki¹, Koji Nagaoka¹, Haruka Matsushita¹, Takashige Kondo¹, Hermann Bohnenkamp³, Takayuki Yoshimoto⁴, Ryuji Maekawa¹, Takashi Kamigaki²

(¹Medinet Medical Institute, MEDINET Co., Ltd./²Seta Clinic Group /³Miltenyi Biotec, GmbH/⁴Institute of Medical Science, Tokyo Medical University)

・セッション: Poster Abstract Presenter in Poster Session1

【 医療法人社団 混志会 瀬田クリニックグループについて 】

1999年3月、免疫細胞治療の専門医療機関として「瀬田クリニック」を開院、現在は、瀬田クリニック東京(東京都千代田区)、瀬田クリニック新横浜(神奈川県横浜市)、瀬田クリニック大阪(大阪府吹田市)、瀬田クリニック福岡(福岡県福岡市)の4クリニックを開設しています。開院以来、約17,000名の患者さんに対し、約13万回の治療を提供しています(2014年4月現在)。2009年に設置した臨床研究センター(現:臨床研究・治験センター)では、開院以来の治療実績から抽出した臨床データの解析に加え、大学病院、地域中核医療機関等との共同臨床研究を行い、Evidenceの強化、治療効果の更なる向上に取り組んでいます。